

気分はオリンピック選手!

2月19日から21日の3日間、たざわこスキー場を会場に「2010田沢湖高原雪まつり」が開催されました。

今年の祭りイチ押し企画は「けっちぞり大会」!肥料袋を尻に敷き特設コースを大滑走!!19日には、一直線に滑り降りる「ダウンヒル」が、20日には、ターンテクニックを競う「スラローム」が行われました。

上位入賞者には、現金や宿泊券などの豪華賞金・賞品が贈られるとあって、かなり本気な参加者が多い中、様々なコスチュームを着た、まったりとした参加者も見られ、会場の笑いを誘っていました。



げんき通信②



「幸せの多い人」

仙北市長 門 脇 光 浩

卒業式シーズンになりました。就職や進学をひかえ、大忙しの方々も多い季節です。迎える日々が充実した時間となりますように。もちろん全力でそのお手伝いも急ぎます。そんなこんなで思いついたお話。

先日、たいべいちゆうにちけい都内港区にある台北駐日ざいぶんかだいひょうしよ経済文化代表處を表敬訪問した時のこと。ひょうきたい馮寄台・駐日代表や代表處の皆さんと会談し、日台交流から生き方論に至るまで、幅広いお話をいただきました。馮寄台代表は元気で気さくで思慮深く、本当に魅力的な方です。

代表は、「私は、そして台湾の多くの人たちは、人生が楽しむためにあると思っています」と話します。一方、「涙を流し歩くのが人生だと教えられました」と私…。

この人生観の違いが頭にズッシリと残っていて、何度も反復して、考え方を改めることにしました。人生は楽しい方がいいですよ。そしてハッとしたのは、「辛いばかりの人生を、周囲にも要求してきたんじゃないかな」と言うこと。豊かな人生とは苦楽の織物です。

私は、公務を通して市民の皆さんの人生を預かっています。その公務に直接携わる市役所職員の皆さんの人生も預かっています。一日の多くの時間を市役所で過ごす職員にとって、市役所はまさに人生の舞台です。人生の舞台が辛いだけだとしたら、市役所から笑顔が消えてしまいます。

人間は他人を喜ばせることで、自身も喜びを感じる数少ない動物です。市役所職員は市民の喜ぶ顔を見ることができるとして最高の仕事、いえ、そうでなければいけません。

お勤めに限らず、自営業や家事だって同じこと。仕事で喜びを感じることができたなら、人生の幸せが多い人に、きっとなれます。